筆のやとりなれてハ時雨花の事
咲もを侍人をとこまぬす様ハ
一面ハ白きいさくるの月数ハ
黄ゆゑ野起すや仲の奥
桃の咲ハ山の見用る山ハ
雪中や雪のなかれ咲ハ
松うけハ脱ちくそうさの月
寺所の河静なる柳ハ邪
正色の正徳なりよ山桂
年礼もつきそめいつや若菜賣
たそかれや海へ投込雑子の都
山深く女も見用るさくるこの事
春の海静ハ月のやとり
散桜入日の猪ゆゑの月
見渡せは雪のひくさや春の月
年込ハそうさへ見へぬ花の中
筆立ハ花をなれ川若根山
学や花の雪もきのふより
柳道やすれふもなりす去年
海うまゆ隣ハ雨の夜

小松
曲阜
青蓉
柳半
杏林
一眠
如月
素平
雨柳
蓋水
噸流
楠翠
常枝
和流
丕水
洗耳
延一
一徳
泥亀
青山

藤のとうなしかし
花の色ハ
雅山

王とらの春

信州上尾子連